

豊山会 山行

2026 年 2 月 9 日 (月) 現在

実施日 : 2027年2月25日 (木曜日)

場所 : 狭山丘陵

距離 : 約 15.3 km

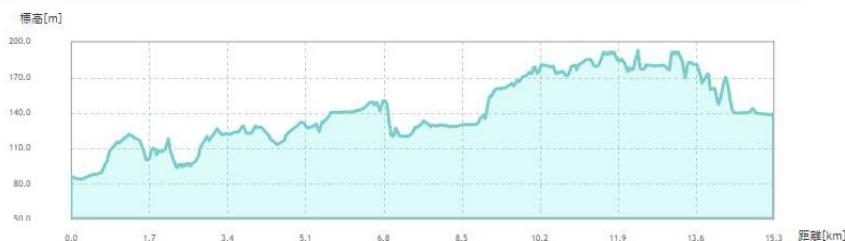
標高差 : (累積) 上り約 397m ・ 下り約 346m

時間 : 4 時間半 (休息は別)

集合場所・時間 : 西武多摩湖線武蔵大和駅に09:00

行程

武蔵大和駅 (標高 89m) → 円乗院 → 東大和公園 → 八幡神社 → 多摩湖畔の道 → 多摩湖中央の橋 → 谷津仙元神社 → 番太池 → 空堀川源流の池 (野山北公園) → 六地蔵 → 御判立 → 須賀神社奥の院 → 六道山公園 (昼食予定場所) → 出会いの辻 → 高根山 → 三角点広場 (狭山丘陵の最高地点・標高 194m) → 愛宕山 → 浅間神社 → さやま花多来里の郷 → 狭山池公園 → 杉山稻荷神社 → (JR 八高線) 箱根ヶ崎駅 (標高 139m)



狭山丘陵 :
(以下Wikipediaより)

狭山丘陵 (さやま きゅうりょう) は、[日本](#)の[関東平野](#)西方、[埼玉県](#)と[東京都](#)の[都県境](#)に東西11km、南北

4km、総面積約3,500haの規模で広がる丘陵である。最高地点の標高は194m^[1]。周囲は武蔵野台地となっている。東京都では狭山丘陵を首都圏に浮かぶ「緑の島」と称して、官民合わせて保全に努めている。

概要

埼玉県所沢市・入間市と、東京都東村山市・東大和市・武蔵村山市・西多摩郡瑞穂町の、5市1町に跨っている。

所沢市の公益財団法人「トトロのふるさと基金」ホームページ内にて2014年に「埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター」名義で発表された「狭山丘陵北部とその周辺地域におけるキツネの最近の記録」によると、狭山丘陵の樹林地分布から半径約1kmの範囲を「狭山丘陵」、それより遠方を「周辺地域」として定義している。

古くから丘陵の狭間に田が、丘陵部に畑が拓かれ、雑木林から薪炭や堆肥にする落ち葉を採取し、里山としての景観や生態系が形成された。特に戦前、狭山湖（山口貯水池）・多摩湖（村山貯水池）が建設されて後は、その多くが建設により湖底となり、逆に丘部分は水源保護林となった。大正末から昭和初期にかけて、多摩湖堤防ダム、狭山湖堤防ダムの建設に際し鉄道が延長され、完成後は、その景観の美しさから、リゾート開発が推進された。戦後、緑地を活かす形でレジャー施設の大規模開発が進み、高度経済成長期にはその交通の便のよさから丘陵狭間の低地田畑は宅地に転じた。結果として丘陵部は、首都圏西郊にありながら里山の環境が広域にわたり保持された。環境省は「狭山丘陵全体」という名称で生物多様性保全上重要な里地里山（重要里地里山）に指定している。

以上